

今週（9月24日から9月27日）の短期金融市場動向

●インターバンク市場

今週の無担保コール市場は、引き続き調達ニーズの強い状況に変わりはなく、相場に大きな変化は見られなかった。無担保コールO/N物は、0.225～0.227%での出会いが中心となった。そのため、加重平均レートについては、24日(火)から26日(木)まで0.226%の横這い推移となり、3日積みとなった27日(金)も概ね横這い圏での推移となった。ターム物に関しては、1M～3M程度の期間を中心に0.30～0.40%程度の水準で出会いが散見された。

日銀当座預金残高は、24日(火)に短国の償還超過を受けて548兆円台半ばでスタートした。その後は、金融調整により550兆円程度まで増加する展開となったが、27日(金)に40年債発行や財政投融资資金の回収を受け、548兆円台半ばまで減少する見込みとなった。

●レポ市場

今週のGC ON物は、概ね0.18～0.255%程度の水準で推移した。SC個別銘柄では、カレント近辺の銘柄にビッドの出入りが多く見られた。

●短国市場

今週の短国市場は、1Yゾーンが堅調に推移した。27日(金)に実施された3M物入札は、事前予想に比べ甘く、テールが流れる結果となった。結果発表後のセカンダリーマーケットは、閑散で特段の出会いは見られなかった。

●CP市場

今週のCP発行市場は、月末発行週にあたり、不動産、電気・ガス業、その他金融、建設業など複数の業態が大型発行を実施した。

市場残高は、週を通して概ね24兆円台半ばでの推移となったが、来週9月30日(月)には有利子負債削減の動きから大幅に減少する見込みとなっている。

発行レートについては、引き続き0.25%以上で推移し、銘柄により投資家の運用目線にばらつきが見られた。

25日(水)にはCP等買入オペが事前予定通り4,000億円でオファーされた。結果は、按分レート0.270%、平均レート0.334%と前回(按分0.299%、平均0.344%)比で、按分レート、平均レート共に低下した。

●短期金融市場関連指標

	日経平均 (円)	新発10年物 国債利回り (%)	為替 (ドル/円中心相場)	無担保コールO/N (加重平均・%)	東京レポレート(翌日 物・T+1スタート・%)	日銀当座預金残高 (億円)
9/23 (月)						
9/24 (火)	37,940.59	0.805	143.70	0.226	0.235	5,486,000
9/25 (水)	37,870.26	0.810	143.27	0.226	0.229	5,488,700
9/26 (木)	38,925.63	0.830	144.57	0.226	0.219	5,500,400
9/27 (金)	39,829.56	0.805	145.44	0.226	0.208	5,483,000

来週（9月30日から10月4日）の短期金融市場動向

●経済カレンダー

	国内主要経済指標	国債等入札予定		海外主要経済指標
9/30 (月)	8月の鉱工業生産・出荷・在庫速報(経済産業省 8:50) 8月の商業動態統計速報(経済産業省 8:50) 8月の住宅着工統計(国土交通省 14:00)	2Y 26,000億円 10/1発行		9月のシカゴPM景況感指数 4-6月期の英GDP確報値
10/1 (火)	9月調査の日銀短観(概要及び要旨,日銀 8:50) 決定会合における主な意見(9月19・20日分 8:50) 8月の労働力調査(完全失業率 総務省 8:30) 8月の一般職業紹介状況(有効求人倍率 厚生労働省 8:30)	交付税借入 13,000億円 10/11借入		9月のISM製造業景況指数 8月の米建設支出 9月のユーロ圏消費者物価指数速報値
10/2 (水)	9月のマネタリーベース(日銀 8:50) 9月の消費動向調査(内閣府 14:00) 財政資金対民間収支前月実績/当月見込み(財務省 15:00)			
10/3 (木)	長崎県金融経済懇談会において野口日銀審議委員講演 10月の日銀当座預金増減要因見込み(日銀 8:50)	10Y 26,000億円 10/4発行	交付税借入 13,000億円 10/17借入	9月のISM非製造業景況指数 8月の米製造業新規受注・出荷・在庫
10/4 (金)		TB3M 46,000億円 10/7発行		9月の米雇用統計

●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
9/30 (月)	500	13,500	14,000	国債補完 CP買入	15,300 ▲ 3,100	4,000	16,200	30,200	TB3M発行▲46,000 償還55,000
10/1 (火)	700	▲ 23,000	▲ 22,300				0	▲ 22,300	2Y発行▲26,000 償還13,900
10/2 (水)	600	▲ 39,000	▲ 38,400	全店共通	▲ 8,000		▲ 8,000	▲ 46,400	消費税・法人税揚げ 年金保険料揚げ
10/3 (木)	▲ 100	▲ 500	▲ 600				0	▲ 600	
10/4 (金)	600	▲ 25,000	▲ 24,400				0	▲ 24,400	恩給 10Y発行▲26,000
週間合計	2,300	▲ 74,000	▲ 71,700	—	4,200	4,000	8,200	▲ 63,500	

9/30は日銀予想、10/1以降は当社予想

●短期金融市場の見通し

無担保コールO/N物は、引き続き調達ニーズの強い展開が見込まれ、レートは今週と同水準での推移が予想される。債券レポGC T/N物のレート水準は、参加者のスタンスに大きな変化がなければ、引き続き横ばい圏での推移が見込まれる。短期市場は、10月4日(金)に3M物の入札実施が予定されている。CP市場は、期明け後の発行再開により、市場残高がどこまで回復するのか動向が注目される。

主要なイベントは、国内では10月1日(火)に9月調査の日銀短観、決定会合における主な意見(9月19・20日分)、8月の完全失業率・有効求人倍率、海外では、30日(月)に4-6月期の英GDP確報値、10月1日(火)に9月のISM製造業景況指数、9月のユーロ圏消費者物価指数速報値、3日(木)に9月のISM非製造業景況指数、4日(金)に9月の米雇用統計などが予定されている。

- ◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- ◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
- ◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等を負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。